

講座の概要

「看護学×工学が創る新たな医療」 工学部 知能デザイン工学科

日時	講師	講義テーマ	講義の概要
11/11 (土)	竹内登美子	看護学と工学の連携で 広がる人に優しいケア	平成31年度に開設予定の看護学部では工学部と連携することによって、安全や快適さを提供する看護に、効率性や機能性等を加えた「人に優しいケア」の創造・実践を目指します。今回は、医療福祉用ロボットやICTを活用した健康教育、人工知能による医療の未来等、広がる看護の世界をご紹介します。
	本吉 達郎	人工知能研究の発展と 医療・看護分野での応用例	第3次ブームを迎えている「人工知能」研究、その全体像を俯瞰することを目指します。エキスパートシステムなど医療・看護分野での応用例なども交えながら人工知能研究の歴史について紹介します。また、各応用例における要素技術について講義します。
11/18 (土)	大島 徹	看護・介護を支える人間工学	経験の積み重ねに頼るところが多い看護・介護の領域でも、人間工学に基づいて科学的な根拠のもとで実践していくことが望まれています。看護・介護と人間工学について、特にポディメカニクスという分野を中心に学びます。
	上村 一貴	科学的根拠に基づく介護予防	超高齢社会を突き進む我が国において、介護（寝たきり）予防は国をあげて取り組むべき重要課題と言えます。本講座では、ライフスタイル改善による予防方法や、工学・技術の介護予防への関わりについてお話しします。
	中島 一樹	生きる基本： 飲み込みと排泄のセンシング	食事介助の必要な高齢者では、目視で飲み込みを判断できないことがあります。また、施設や家庭で排泄を測定することは容易ではありません。この講座では、開発している飲み込みや排泄を検出するセンサについてお話しします。
11/25 (土)	佐保 賢志	レーダによる歩行計測と その高齢者見守りシステムへの応用	レーダ（電磁波センサ）を用い、遠隔かつリアルタイムで歩行運動を計測する技術を紹介し、さらに、この技術が高齢者見守りシステムへ応用し、認知症早期発見や転倒予防へ活用するという取り組みを紹介し、
	小柳 健一	今のロボットとこれからのロボット： 医療・看護に必要なこととは？	これまでの講義で見たように、今の工学やロボットでできることは多い一方で、簡単そうに見えても全くできていないことも多くあります。現状の課題を踏まえ、これからの展望を考えます。

平成29年度 富山県立大学秋季公開講座 受講申込書

FAX 0766-56-0391

ふりがな			男・女
氏名			歳
住所	〒	—	電話番号 — —
県民カレッジ カード(☆)	有	県民カレッジカード番号 ()	
	無	カード発行(無料)の希望 (有・無)	

☆県内の生涯学習のパスポートとして学習の足跡を記録し、学習活動を支援するために配布しているカードです。単位シールを貼ることで、取得単位を把握することができます。

※記載いただいた個人情報は、本講座に関する業務のみに使用し、それ以外の目的では使用しません。